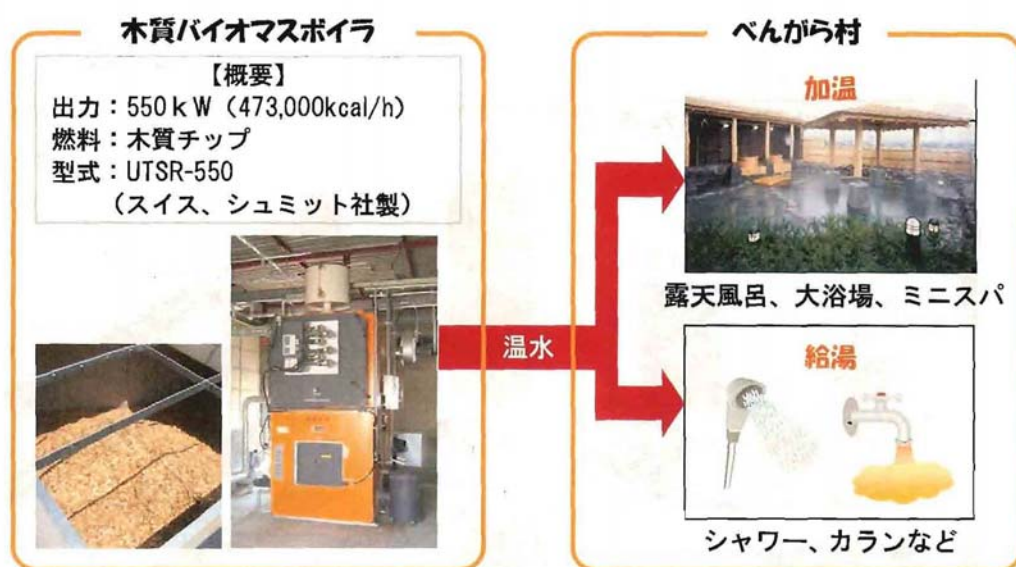


所在	八女市大字宮野	事業主体	八女べんがる村
問い合わせ先	0943-24-3339	見学	2009. 11. 19
施設名	八女べんがる村	運転開始年	2009年5月
出資比率	50%	原料	木質チップ（土場残材）
利用法	熱利用	原料調達費	7,000円／t

システムフロー
(フロー図)



システムフロー
(施設前景)



ボイラの建屋



チップ投入口



チップサイロ内部

施設仕様	設備形式：木屑焚きボイラーによる熱利用 ・木屑焚きボイラー 550kw（スイス；シュミット社製、巴商会納入） ・田主丸中央病院と全く同じシステム
運転状況	①稼働時間 24h／日、年間ではメンテ以外は運転 ②熱利用 500kw??ボイラ（2基）の約80%を代替している
コスト (イニシャルコスト)	①イニシャルコスト 約5,700万円（ボイラ本体、チップ貯留庫などを含む、建屋は既存利用） ボイラに補助金（1/2）を受ける
コスト (ランニングコスト)	①ランニングコスト 一日10～12立方の購入費（チップ購入費 7,000円／t） 灰は、肥料分が多く、周辺農家が引き取っている
効果	①重油の消費量が80%の削減となり、それは1,000万円／年に相当。 灰は、肥料分が多く、肥料業者が引き取っている ②CO2削減量は、年間で610トンと推定されている
施設運営上の課題	課題は、ほとんど見あたらない。ボイラの完成度が高く、田主丸病院よりも低質のチップ（推定含水率約40-50%）が利用されているが、田主丸病院の例と同じく、非常に安定した稼働となっている。